

平成30年度 第1回こども部会 議事録

日 時：平成30年6月22日(金) 13:00～15:00

場 所：高松市総合教育センター B棟2階会議室

参加機関：高松市総合教育センター、高松市障がい福祉課、三木町健康福祉課、直島町住民福祉課、発達支援相談事業所まつばら、障害者生活支援センターあい、地域生活支援センターこだま、高松市障がい者基幹相談支援センター（中核拠点）

1. 平成30年度こども部会の目的について部会メンバーで共有した。
 - ・昨年から特に福祉と教育の連携が強調されるなか、厚生労働省・文部科学省からの通知「教育と福祉の一層の連携等の推進について」はタイムリーなもので、この部会でできることがあるのだと感じている。
 - 今年度は主に圏域の教育と福祉の連携を図ることを目的にお互いが歩み寄り、理解し合える取り組み行っていきたい。
3. 福祉と教育の連携の現状についてメンバーから意見をもらった。
 - ・学校に放課後等デイサービスの送迎に来ているが、スタッフの方とゆっくり話ができず、デイサービスで何をしているのかというイメージもなかった。放課後等デイサービスが子どもにとって大切な資源だということ自体、学校では認識がまだ薄い印象がある。まずお互いを知ることが大切である。
 - ・対象となる子どもの支援については放課後等デイサービス事業所と教員との個々の意欲に委ねられているという現状がある。個人的につながっていても機関全体を通じては互いを理解できていないところがあるので、今後は機関としてつながるしくみができるとよい。
 - ・三木町では校長会に健康福祉課が出席している。また、連携に関しての通知は健康福祉課から相談支援事業所へ、教育総務課から学校へ送っている。
 - ・「サポートファイルかけはし」をツールとして使っている子どもはまだ少ないので、教育の連携のために活用できればよい。
4. サービス担当者会についてメンバーから意見をもらった。
 - ・福祉サービスを利用している人は受給者証の更新月にはサービス担当者会議を必ずしなければならない。高松市は利用者が多いこともあり緊急性のある場合でなければサービス担当者会議に学校の先生方を呼ぶことは少ないのが現状。

- ・新規で放課後等デイサービスや保育所等訪問を利用する時には学校の先生方に担当者会議に入ってほしい。
- ・三木町では放課後等デイサービスを利用している子どもがいると学校に送迎車が入ることにもなるので、必要に応じて学校で担当者会議をしている。学校で担当者会議を開きやすい環境を作ってはどうか？全員ではなく、個々のケースで連携できるところから進めていけばよい。
- ・高松養護学校は学校での担当者会議開催を積極的に勧めている。
- ・担当者会でなくてもケース会議を行うことがある。保護者が望む場合や学校だけで終結すべきではない内容がある場合などは学校主体で開かれる場合もある。

5. 今年度の具体的な取り組みについて

(1) 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所連絡会への協力

- ・香川こだま学園では高松市より委託されている高松市発達障害者サポート事業で年2回、高松、三木の児童発達支援と放課後等デイサービスの事業所が集まる連絡会が開催されている。今年度1回目の会では33事業所の出席があった。第2回目の12月13日の連絡会でとるアンケートの内容の検討をこの部会でしていきたい。
- ・放課後等デイサービスのパンフレットを作成してはどうだろうか。内容や特色、地図が載っているものではないのが現状。(意見段階)
- ・教育と福祉の連携について親は知りたいと思うので、子どもに特化したガイドブックがあればいいのでは。幼児期、学齢期、成人期に分けたガイドブックを作っている自治体もある。(意見段階)

(2) 特別支援教育コーディネーター・教育相談担当・スクールソーシャルワーカー合同研修会について

- ・8月1日に開催される。こども部会からもメンバー5名が参加する。研修会でとるアンケートに福祉と教育の連携についての内容を盛り込んでもらう。
- ・こども部会の代表が教員に向けて「福祉サービスについて」説明を行う予定。

次回のこども部会 開催日について

平成30年9月21日 13:00~15:00

以上